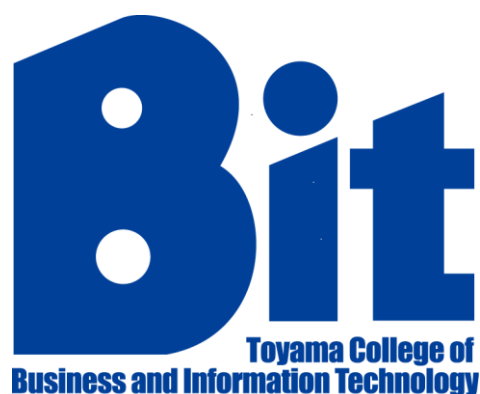


令和7年度
自己点検・評価報告書
富山情報ビジネス専門学校



令和8年4月

自己点検・評価報告書

この自己点検・評価報告書は富山情報ビジネス専門学校の2025年度の自己点検・評価活動の結果を記したものである。

作成日 2026年4月1日

校長
浦城 尚武

自己点検・評価責任者

三宅 可倫

目次

1. 評価方法について
2. 教育理念・教育目標
3. 基準項目
 - 大項目1 教育理念・目的・人材育成像
 - 大項目2 学校運営
 - 大項目3 教育活動
 - 大項目4 学修成果
 - 大項目5 学生支援
 - 大項目6 教育環境
 - 大項目7 学生募集
 - 大項目8 財務
 - 大項目9 法令遵守
 - 大項目10 社会貢献・地域貢献

基礎資料

評価方法について

(1) カテゴリー

「自己点検・評価表」では、各評価項目を A・B・C・S・Q・J という 6 つのカテゴリーに分類し、それぞれがどのカテゴリーに属するかを表示している。本書では、これら 6 つのカテゴリーの内、A・B・C という 3 つのカテゴリーに分類される。

なお、各カテゴリーの位置づけは以下のとおりである。

(1) 文部科学省のガイドラインにも掲載されている基本的な事項は、カテゴリーA (2) 職業実践専門課程の認定を受けているところは、カテゴリーA+カテゴリーB (3) 第三者評価などに取り組む場合には、対象とする認証機関によって、

- ・カテゴリーA+カテゴリーB+カテゴリーC = 更なる質の向上を目指す
- ・カテゴリーA+カテゴリーB+カテゴリーS= 私立専門学校等評価研究機構 2
- ・カテゴリーA+カテゴリーB+カテゴリーQ= QAPHE
- ・カテゴリーA+カテゴリーB+カテゴリーJ= JAMOTEC

(2) 評価基準(定量的評価)

自己点検・評価報告書では、小項目ごとに 4(適切)、3(ほぼ適切)、2(やや不適切)、1(不適切)の 4 段階で評価を行うこととしている。4 段階評価であるので、「ふつう」のような、評価を「保留」という選択肢は無く、少なくとも、どちらかと言えば「適切」なのか「不適切」なのかを判定していく。

どちらかと言えば「適切」であるならば、その上で、4(適切)なのか、3(ほぼ適切)なのかを判定した。判定基準としては重要な観点は「エビデンス」とした。提示したエビデンスにより、第三者を含む多くの者が「適切」と判断できるのであれば 4(適切)と判定し、エビデンスが不十分であるならば 3(ほぼ適切)と判定する。

一方、どちらかと言えば「不適切」であるならば、どの程度不適切なのかを判定することとなる。小項目にて示されている事柄について、エビデンスは明示できない(存在しない)ものの、取組自体は行われているということであれば 2(やや不適切)と判定し、そもそも取り組まれていないということであれば 1(不適切)と判定する。

さらに、「適切」であることにとどまらず、特筆すべき優良な取組がなされている場合には 4+(優良)と判定することで、更なる質向上への取組につながる評価を行うことができる。

【urayama philosophy】

建学の精神・教育理念・教育目標・方針・行動規範

【建学の精神(Ethos)】

- 1 質実明朗
- 1 知行合一

【教育理念(Mission)】

質実明朗な人格形成および知行合一な人材養成

【教育の理想(Vision)】

『地学一体による地域課題解決拠点』としての教育・研究機関

【行動規範(Value)】

私たちは、エルビー羅針盤思考を軸に新しいフィールドへ踏み出す積極的な姿勢を持って行動する。



Learning(よりよく学び)

Behavior(よりよく振る舞い)

Compassion(常に思いやりをもって)

Aspiration(より高い抱負で)

大項目1 教育理念・目標		カテゴリー	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目1	理念・目的・育成人材像 (教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像等が明文化されているか。職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容等が盛り込まれているか)			
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	A	4	urayamaphilosophy
2	学生・保証人(保護者)に対して教育理念等を明文化し、周知しているか	A	4	HP,カレッジガイド,募集要項等
3	教職員に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を図っているか	B	4	全体会議、講師会等
4	学外の方に対して教育理念等を明文化し、公表しているか	B	4	HP,カレッジガイド,募集要項等
中項目2	教育の特色(社会や関連業界のニーズを踏まえた将来構想を描いていますか)			
1	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか(コース修了後に、学習者とそのコンピテンスのレベルを必要とする目的や状況が明確にされているか)	A	4	教育課程編成委員会、ディプロマポリシー
2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか (学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	A	4	教育課程編成委員会、学校関係者評価委員会
3	学校における職業教育の特色は明確になっているか	A	4	ディプロマポリシー、HP
4	各修業期間における教育目的・目標・教育計画が文書化され、提示されているか	C	4	ルーブリック
		平均	4.0	
		A平均	4	

1:課題
大項目1に関しては、学校・学園の根幹になる内容が多く、作成・公表できている。
2:今後の改善策
今後も本項目の内容については作成・公表だけでなく教職員の理解度を深めるためにOJTなどを企画、実践していく必要がある。
3:特記事項

2 学校運営		カテゴリー	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目 1	運営方針(運営方針は教育理念等に沿ったものになっているか)			
1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	A	4	urayamaphilosophy、HP、カレッジガイド等
2	運営方針を教職員に周知しているか、また必要に応じてその理解の状況を確認しているか	B	4	urayamaphilosophy、HP、カレッジガイド等
中項目 2	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)			
1	運営方針に沿った事業計画を策定し共有しているか	A	4	重点目標、理事会・評議員会議事録
2	学校の年間スケジュールはあるか	A	4	Bitハンドブック(年間スケジュールカレンダー)
中項目 3	中期計画(中期計画を作成し、運用しているか)			
1	中期計画の策定に向けて、教育理念(建学の精神)、教育目標等の再定義を含め、中長期的ビジョンや財務的な目標を設定しているか	C	3	中期経営計画書
2	中期計画と事業計画は関連付けられているか	C	3	中期経営計画書
3	理事会にて中期計画を説明し、必要に応じて改善し、承認を受けているか	C	3	理事会議事録
中項目 4	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)			
1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	A	4	寄付行為、理事・評議員名簿
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	A	4	組織図、会議規定
3	組織機能図があるか	A	4	組織図、業務分掌
4	運営会議(教職員会議・教員会議等)が定期的に行われているか	B	4	運営会議議事録
5	理事会・評議員会の議事録は公開されているか	C	3	理事会議事録
6	教職員(組織の構成員)それぞれの職務分掌が文書化されているか	C	4	業務分掌
21	出退勤管理簿があるか	A	4	出勤簿、就業規則
22	教職員の健康診断がされているか	A	4	教職員健康診断の案内、教職員健康診断実施記録(本部)、就業規則、特定健康診査結果(本部)
41	施設設備の保守・管理が定期的に行われているか	A	3	実施記録、支払い履歴等
中項目 5	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)			
1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A	3	教職員名簿
2	現に教員数が充足していない場合、採用活動を行っているか、または、教員資格等取得に向けた教育・指導を行っているか	A	3	HP、求人票
3	授業評価の実施・評価体制はあるか	A	4	授業アンケート
4	教員の組織体制を整備しているか	A	4	講師会議事録、組織図
5	職員の能力開発のための研修等が行われているか	A	3	研修報告書
6	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組みが行われているか(研修等の効果の評価し、文書により記録しているか)	A	3	研修報告書
7	教育の成果(学修結果)に基づく教員面接を実施しているか	B	3	授業アンケート
8	[職業実践専門課程]専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、実務に関する研修や指導力の修得・向上のための研修等を教員の業務経験や能力、担当する授業や業務に応じて組織的・計画的に受講させているか	B	4	別紙様式4
9	教員に対して、割り当てられた職務及び責任、学習サービスの評価結果、本人の専門能力開発のニーズに対する見解を考慮に入れて、専門能力開発の計画を作成しているか(教職員研修計画の作成)	B	4	別紙様式4
10	教育内容の改善を図るため、教職員と非常勤講師等との定期的な情報交換を行っているか	B	3	学生共有表
11	事務職員の意欲・資質の向上を図るための方策を講じているか	C	2	なし

中項目 6	人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)			
1	人事に関する制度を整備しているか	A	4	学園就業規則
2	給与に関する制度を整備しているか	A	4	給与規定・旅費交通費規定
3	昇給・昇格制度は文書化されているか	B	4	人事評価規定
4	採用制度は文書化されているか	B	4	教職員採用規定
中項目 7	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)			
1	情報システム化等による業務の効率化が図られているか (情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか)	A	4	業務分掌、学生配布資料、講師会資料
		平均	3.6	
		A平均	3.7	

1:課題
中項目5については、整備・方針が定まっていない部分があり、教職員の研修については個々にバラつきがある
2:今後の改善策
2026年度定期的なSD・FD研修の実施
R3:特記事項

3 教育活動		カテゴリー	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目 1	目標の設定（教育理念、教育目的および育成人材像に沿った教育課程を編成・実施しているか）			
1	教育目的および育成人材像に基づき教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）を明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	A	3	HP(カリキュラム・ポリシー)
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	A	2	なし
3	教育目的および育成人材像に基づきディプロマポリシーを明示し、また学校構成員（教職員および学生等）に周知し、社会に公表されているか。また定期的に検証を行っているか	B	3	HP(ディプロマ)
中項目 2	教育方法・評価等（各学科の教育目標、育成人材像に向けて、体系的なカリキュラム作成などの取組がなされているか）			
1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	A	4	HP（カリキュラム）
2	講義および実習に関するシラバスは作成されているか	A	4	HP（シラバス）
3	各科目の1コマの授業について、その授業シラバスが作成されているか	B	1	なし
4	シラバスあるいは講義要項（作成されていればコマシラバス）などが事前に学生に示され（あるいはホームページなどで公開されて）、授業で有効活用されているか	B	4	HP（シラバス）
5	授業はシラバスに基づいて授業が展開されているか。また学校構成員（すべての教員、職員、学生）に周知を図っているか	C/J	1	なし
21	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか（教育内容およびその評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か）	A	1	なし
22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	B	1	なし
23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか（学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか）	B	4	授業アンケート、学生満足度アンケート
24	評価結果を教員にフィードバックするなど、その結果を授業改善に役立てているか	B	4	授業アンケート
41	カリキュラム作成の際、複数のメンバーによるカリキュラム作成やカリキュラム作成委員会等の形で、作成したカリキュラムの検証が行われているか	B	3	なし
42	カリキュラム作成メンバーの中に業界関係者などの外部関係者を入れているかまたはその意見を取り入れているか	B	4	教育課程編成委員会議事録
81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	A	4	シラバス（就職支援）
82	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられ、その内容、評価法などが事前に決められているか	B	3	インターンシップ資料
83	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、演習・実習等を行っているか	B	4	教育課程編成委員会の議事録 教育課程編成委員会様式4
84	企業・施設等での職場実習（インターンシップ含む）があるか	B	3	インターンシップ資料
85	企業・地域・行政との連携を図っているか	C	4	MR会議資料 射水市連携などの契約書
86	他の高等教育機関との連携講座等を行っているか	C/Q	4	成果物

中項目 3	成績評価・単位認定等（成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか）			
1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	A	4	Bitハンドブック 進級・卒業判定会議
2	学生や保証人（保護者）に対し、成績評価・単位認定の基準、進級要件、卒業要件はきちんと提示されているか	B	4	HP（Bitハンドブック） HP（カリキュラム）
3	各規定に基づいて適切に成績評価・単位認定、進級・卒業判定を行っているか	B	4	進級・卒業判定会議の資料
4	〔職業実践専門課程〕専攻分野に係る関連分野の企業・団体等と連携し、学生の学修成果の評価を行っているか	B	4	教育課程編成の議事録
中項目 4	資格・免許取得の指導体制（資格・免許取得のための指導体制があるか）			
1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか（発行する修了証明書の種類及び内容）	A	4	資格目標一覧
中項目 5	キャリア教育等（基礎的・汎用的能力（①人間関係形成・社会形成能力、②自己理解・自己管理能力、③課題対応能力、④キャリアプランニング能力）を身につけるための取組が実施されているか）			
1	キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか	B	4	シラバス
2	卒業後の専攻分野におけるキャリア形成への適応性、効果を把握しているか。また、それを踏まえ教育活動等の改善を図っているか	C	1	なし
21	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	A	3	高校案内資料
41	リメディアル（導入前教育・補習）教育を行っているか	C	4	入学前学習資料
		平均	3.2	
		A平均	3.3	

1:課題	地域連携活動や自由選択科目を通じたAI・DX教育等を推進している一方、教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会以外の外部意見を継続的に教育へ反映する仕組みが十分ではない。また、従来は学校全体で統一していたディプロマ・ポリシーについて、学科・専攻ごとの特色や育成人材像との接続が十分整理されておらず、DP・CP・授業科目・評価基準の体系化が課題となっている。
2:今後の改善策	地域企業、自治体、卒業生、業界団体等との連携を強化し、社会ニーズや地域課題を継続的に把握できる外部評価・意見収集体制の構築を進める。また、学科・専攻ごとにディプロマ・ポリシーを再整理し、「卒業後にどのような分野で活躍する人材を育成するのか」「そのために何を学ぶのか」を明確化したうえで、カリキュラム・ポリシー、授業科目、評価基準との体系的な接続を進めていく。
3:特記事項	

4 学修成果・教育成果		カテゴリー	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目1	学修成果（各学科の教育目標、育成人材像に向けてその達成への取り組みと評価がされているか）			
1	コース全体を通して、及びコースの修了時に、学習者の習熟状況をアセスメントしているか	A	4	学修到達度評価表
2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか（測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か）	B	4	ループリック
中項目2	就職率（就職率の向上が図られているか）			
1	就職率の向上が図られているか（結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか）	A	4	内定率推移実績(目標)、就職活動報告書
2	学生の就職に関する目標が、教職員に共有されているか	A	4	内定率推移実績(目標)
3	学生の就職活動に関する記録がなされているか	B	4	就職活動報告書
4	対外部に向けた就職実績を公表しているか（パンフレット・HP等）	B	4	カレッジガイド、HP
5	学生の就職結果に関して検証・報告がされたか	C	4	部署評価
中項目3	資格・免許の取得率（資格・免許取得率の向上が図られているか）			
1	資格取得率の向上が図られているか（目標とする資格試験等への合格率は全国平均と比較してどうか）	A	4	検定実施報告書、検定合格目標一覧（クラウド上）
2	資格・検定・コンペに関する目標を設定したか	A	4	検定合格目標一覧（クラウド上）
3	資格・検定・コンペに関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	4	検定実施報告書、検定合格目標一覧（クラウド上）
4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・報告がされたか	B	3	検定合格目標一覧（クラウド上）
5	資格・検定・コンペの結果（合格者数・合格率）を公表しているか	B	4	HP、カレッジガイド、学校・学科Instagram
中項目4	社会的評価（卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか）			
1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか（卒業生の就職後の動向を出来るだけ把握し、卒業後にも就職その他の支援を行っているか）	A	4	卒業生進路状況アンケート
2	卒業生の動向について、年度毎に調査・集計し、動向等を把握しているか	C/Q	3	卒業生進路状況アンケート
3	卒業年度だけでなく、卒業後一定期間後の勤務先等就業状況を調査・把握しているか	C/Q	3	卒業生進路状況アンケート
		平均	3.8	
		A平均	4.0	

1: 課題	検定合格検証後の振り返りが実施されていない
2: 今後の改善策	新年度資格目標設定の際前年度の振り返りを行う
3: 特記事項	

5 学生支援		カテゴリー	点数 4/3/2/1	R7 エビデンス																				
中項目 1	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)																							
1	学生への修学支援を適切に行っているか	A	4	<table border="1"> <tr><td>情報システム学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>建築・デザイン学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>Webクリエイター学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>ホテル・プライダル学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>医療事務学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>診療情報管理士研究科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>情報ビジネス学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>歯科衛生士学科</td><td>個人面談記録</td></tr> <tr><td>インターナショナルビジネス学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> <tr><td>日本語学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> </table>	情報システム学科	個別面談記録	建築・デザイン学科	個別面談記録	Webクリエイター学科	個別面談記録	ホテル・プライダル学科	個別面談記録	医療事務学科	個別面談記録	診療情報管理士研究科	個別面談記録	情報ビジネス学科	個別面談記録	歯科衛生士学科	個人面談記録	インターナショナルビジネス学科	学科MTG議事録	日本語学科	学科MTG議事録
情報システム学科	個別面談記録																							
建築・デザイン学科	個別面談記録																							
Webクリエイター学科	個別面談記録																							
ホテル・プライダル学科	個別面談記録																							
医療事務学科	個別面談記録																							
診療情報管理士研究科	個別面談記録																							
情報ビジネス学科	個別面談記録																							
歯科衛生士学科	個人面談記録																							
インターナショナルビジネス学科	学科MTG議事録																							
日本語学科	学科MTG議事録																							
中項目 2	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)																							
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか(またそれはきちんと学生や保証人(保護者)に周知されているか)	A	4	保護者懇談会記録、カレッジガイド、就職ハンドブック☑																				
2	キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいるか	C	2	なし☑																				
3	就職担当部門と担任教員との連携は図られているか	C/Q	4	内定率推移実績、進路活動状況報告、サポート学生一覧																				
4	関連業界への就職率の向上は図られているか	C/Q	4	企業訪問報告、校内企業説明会の誘致記録、特別授業の実施記録(HP)																				
中項目 3	学生相談(学生相談に関する体制は整備されているか)																							
1	学生相談に関する体制は整備されているか(相談窓口が設置されているか)	A	2	・カウンセラーと打ち合わせをした記録 ・契約書(作成中)																				
2	学生の面談・相談記録があるか	B	4	<table border="1"> <tr><td>情報システム学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>建築・デザイン学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>Webクリエイター学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>ホテル・プライダル学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>医療事務学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>診療情報管理士研究科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>情報ビジネス学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>歯科衛生士学科</td><td>個人面談記録</td></tr> <tr><td>インターナショナルビジネス学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> <tr><td>日本語学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> </table>	情報システム学科	個別面談記録	建築・デザイン学科	個別面談記録	Webクリエイター学科	個別面談記録	ホテル・プライダル学科	個別面談記録	医療事務学科	個別面談記録	診療情報管理士研究科	個別面談記録	情報ビジネス学科	個別面談記録	歯科衛生士学科	個人面談記録	インターナショナルビジネス学科	学科MTG議事録	日本語学科	学科MTG議事録
情報システム学科	個別面談記録																							
建築・デザイン学科	個別面談記録																							
Webクリエイター学科	個別面談記録																							
ホテル・プライダル学科	個別面談記録																							
医療事務学科	個別面談記録																							
診療情報管理士研究科	個別面談記録																							
情報ビジネス学科	個別面談記録																							
歯科衛生士学科	個人面談記録																							
インターナショナルビジネス学科	学科MTG議事録																							
日本語学科	学科MTG議事録																							
中項目 4	学生生活(学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。学生の健康を担う組織体制はあるか。生活環境支援体制を整備しているか)																							
1	奨学金制度など、学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A	4	募集要項、奨学金説明会資料																				
2	公的支援制度の利用について、学生・保証人(保護者)に案内、情報提供しているか	C/Q	4	募集要項、オリエンテーション資料、奨学金説明会資料																				
21	学生の健康管理を担う組織体制はあるか(学生の健康診断を実施しているか、また健康相談窓口は整備されているか)	A	4	健康診断案内(在学生全員受診→結果配布、要受診者再受診案内)																				
41	課外活動に対する支援体制は整備されているか	A	4	サークル活動記録、活動費の支援(学生会予算)、各学科の地域連携活動への																				
42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	A	4	新入生全員へのアパート案内、近隣駐車場案内の入試後発送物																				
中項目 5	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)																							
1	退学率の低減が図られているか(受講登録、出欠状況及び学習者の減少に関する分析が行われているか)	A	3	<table border="1"> <tr><td>情報システム学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>建築・デザイン学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>Webクリエイター学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>ホテル・プライダル学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>医療事務学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>診療情報管理士研究科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>情報ビジネス学科</td><td>個別面談記録</td></tr> <tr><td>歯科衛生士学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> <tr><td>インターナショナルビジネス学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> <tr><td>日本語学科</td><td>学科MTG議事録</td></tr> </table>	情報システム学科	個別面談記録	建築・デザイン学科	個別面談記録	Webクリエイター学科	個別面談記録	ホテル・プライダル学科	個別面談記録	医療事務学科	個別面談記録	診療情報管理士研究科	個別面談記録	情報ビジネス学科	個別面談記録	歯科衛生士学科	学科MTG議事録	インターナショナルビジネス学科	学科MTG議事録	日本語学科	学科MTG議事録
情報システム学科	個別面談記録																							
建築・デザイン学科	個別面談記録																							
Webクリエイター学科	個別面談記録																							
ホテル・プライダル学科	個別面談記録																							
医療事務学科	個別面談記録																							
診療情報管理士研究科	個別面談記録																							
情報ビジネス学科	個別面談記録																							
歯科衛生士学科	学科MTG議事録																							
インターナショナルビジネス学科	学科MTG議事録																							
日本語学科	学科MTG議事録																							
2	退学率の目標を設定しているか	A	2	なし																				
3	退学率の低減に関する目標・計画が教職員に共有されているか	B	2	なし																				
4	退学者数を公表しているか	B	4	HP(情報公開)、別紙様式4																				
5	中途退学者数、中途退学の原因・傾向等を把握しているか	C/Q	2	なし																				

中項目 6	保証人(保護者)との連携(保証人との連携体制を構築しているか)			
1	保証人(保護者)と適切に連携しているか(保証人のニーズを把握しているか)	A	4	保護者会報告書
2	保証人(保護者)との計画的な相談会・面談を行っているか	B	4	懇談会実施概要 懇談会実施要綱 保護者会報告書
3	緊急時の保証人(保護者)等との連絡体制を確保しているか	C/Q	4	学生調査書
中項目 7	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を把握しているか。社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか)			
1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	B	2	UMP
2	学校情報を卒業生に知らせているか(HP・学校便り等)	C	3	同窓会報
3	学校は同窓会との連携を図っているか	C/Q	4	役員会議事録
21	卒業生への卒業後教育等の支援体制はあるか(卒業生への講習・研修を行っているか)	B	1	なし
22	卒業生への資格、検定等不合格者に対する対策を講じているか	C/Q	1	なし
41	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	A	3	HP(教育訓練給付金制度)
42	大学等卒業生の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則・細則に規定し、適切に認定しているか	C/Q	1	なし
		平均	3.1	
		A平均	3.6	

1:課題
退学防止の取り組みと情報共有は行われているが、学校全体での目標共有や計画まで至っていない。
2:今後の改善策
<ul style="list-style-type: none"> 退学率の明確な目標を設定するとともに、傾向把握のためのデータ収集・分析を行う。 学生相談窓口の設置をふまえ、利用の方法について学生に周知していく
3:特記事項

6 教育環境		カテゴリ	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目 1	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか)			
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか(講義室は学生数、時間割にあわせ、無理なく配備されているか)	A	4	学校設置申請書 R7時間割前期、後期
2	学生が利用できる参考図書・関連図書は備えられているか	A	4	図書台帳
3	教育上の必要性に対応した機材・備品を整備しているか	A	3	教官機、学生貸出機一覧 プリンター一覧 IT環境担当2024
4	図書室・図書コーナーがあり、図書館サービスは十分に機能しているか	C	3	Bitハンドブック
21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか	B	4	学則 お手洗いの掲示物
22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的に管理・チェックがされているか	B	3	教室清掃チェックシート 始業式・終業式等活動概要説明資料内での 清掃活動の記載
41	施設・設備の点検・補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	A	3	ホクタテの報告書
中項目 2	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分な教育体制を整備しているか)			
1	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	A	2	4.8-①医療事務実習オリエンテーション資料 実習基本資料(ホテプラ)
2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアルや規則が整備されているか。	B	4	歯科衛生士学科個人情報に関する誓約書あり 医療事務学科④個人情報に関する誓約書
3	校外実習等についての成績評価基準を明確に決めているか	C/Q	4	インターンシップ評価表
中項目 3	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)			
1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A	3	地震および火災による避難について
2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)が整備・点検されているか	A	4	消防用設備点検報告書
21	定期的に防災訓練を実施しているか	A	1	なし
41	学校における安全管理の整備を行っているか	B	4	ホクタテの報告書
	平均		3.3	
	A平均		3.0	

1:課題
①インターンシップは各学科に資料があるが、個々で作成しており、統一されていない②防災訓練などを実施していない
2:今後の改善策
①キャリア担当が、まず各学科の資料を把握して、統一した資料を作成する。またそれを教員に周知し、インターンシップのシラバスにも反映させる。 ②防災訓練や不審者訓練などを年に1回実施する。危機管理マニュアルがない。
3:特記事項

7 学生の受入れ募集		カテゴリー	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目 1	学生募集活動(学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学選抜を行っているか。社会人入学生、留学生、障がい者等、多様な学生の受入れについて方針を明確にしているか)			
1	学生募集活動は、適正に行われているか	A	4	募集要項
2	入学受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	A	4	HP情報公開(アドミッション・ポリシー)
3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指す資格・免許等をわかりやすく紹介しているか	A	4	HP、パンフレット
4	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集を行っているか	A	4	募集要項
21	入学に関する問い合わせ等に適切に対応できる体制ができているか	A	4	業務分掌
22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	A	4	パンフレット
23	入学予定者に対し学習指導・支援等は行われているか	B	4	入学前教育前の資料
41	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、オリエンテーションなどで学校側の義務と責任を学生と保証人(保護者)に案内しているか	C/J	4	個人情報同意
中項目 2	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)			
1	学校案内等には選抜方法が明示されているか(入学に必要な学力、スキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか)	A	4	募集要項
2	学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に入学選抜を行っているか	A	4	2026入試合否判定資料
中項目 3	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)			
1	学納金は妥当なものとなっているか	A	4	募集要項
2	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	A	4	募集要項
3	入学辞退者への授業料返還について、文部科学省通知(18文科高第536号)に基づいて適切に対応しているか	B	4	学則
	平均		4.0	
	A平均		4.0	

1: 課題	
2: 今後の改善策	学生募集用に新規に設置した24時間質問可能なAIシステムについて学内外に周知する
3: 特記事項	

8 教育の内部質保証システム		カテゴリー	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目 1	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行なっているか)			
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A	2	なし
2	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A	2	なし
3	関係法令に基づく管理運営に関する学内諸規程を整備し適切に運用しているか	B	3	ハラスメント規定
4	セクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント等の防止について、規定を文書化し、対策を立て実行しているか	C/Q	1	ハラスメント規定
中項目 2	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)			
1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	A	4	個人情報保護規定
2	個人情報保護規程が文書化されているか	A	4	個人情報保護規定
3	個人情報の取扱いについて、教職員に対し周知し、意識づけができているか	B	4	非常勤講師契約書、講師会資料
中項目 3	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)			
1	学校教育、学校運営について、自己点検・評価を実施し、さらに課題解決に取り組んでいるか	A	4	自己点検・評価報告書
2	自己点検・評価報告書にまとめているか (自己点検・評価報告書があるか)	A	4	稟議後、クラウドに保存
3	自己点検・評価の組織があるか	B	4	自己点検・評価P T、校内業務分掌表
21	学校関係者評価の実施体制を整備し、学校関係者評価を実施し、改善の取組みを行っているか	B	4	学校関係者評価委員会議事録
中項目 4	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)			
1	自己点検・評価の必要性を全教職員に伝える機会を設けたか	A	4	学内メール 全体会議事録(2月)
2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	A	3	卒業生進路状況アンケート
3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	3	自己点検評価シート内「改善項目リスト」 臨時運営委員会議事録(3月)
4	自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	3	「改善提案リスト」に実施の有無を記載
5	学校関係者評価の結果に基づき改善計画を策定したか	B	3	課題・対策一覧
6	学校関係者評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証がされたか	B	2	特化した書式なし
中項目 5	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)			
1	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A	4	HP、職業実践専門課程別紙様式4
21	自己評価結果を公開しているか	A	4	HP「情報公開」ページ
22	学校関係者評価結果を公表しているか	B	4	学校関係者委員会報告書
		平均	3.3	
		A平均	3.5	

1: 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学園所管の領域である「法令順守の運用及び組織的体制づくり」が進捗していない状態が続いている。 ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されていない ・ハラスメント規定の存在をハラスメント委員が承知していない、学生・教職員に周知していない/対応フローが確立されていない
2: 対策	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守する組織文化醸成のため、学園本部と連携し、何から着手すべきか明確化するための研修等を検討していく ・ハラスメント窓口の学生向け・教職員向け周知とハラスメント防止規定と対応フローの確認
3: 特記事項	

9 財務		カテゴリー	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目 1	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤は安定しているといえるか)			
1	教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財政的基盤を確立しているか	A	4	財産目録、貸借対照表、事業報告書
2	年度予算・中期計画が策定されているか	A	4	予算申請書
中項目 2	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、適正に執行管理を行っているか)			
1	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	4	予算書
2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B	4	月次報告書
中項目 3	監査(財務について会計監査が適正におこなわれているか)			
1	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施し、理事会、評議員会に報告しているか	A	4	会計監査報告書
2	会計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか	C/Q	4	監査規程
3	会計監査(月次決算書等)の結果報告が文書等にて明確化されているか	C/Q	3	監査規程
中項目 4	財務情報の公開(私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか)			
1	財務情報公開の体制を整備し、適切に公開しているか	A	4	HP
2	財務情報の公開について、ホームページに公開するなど積極的に取り組んでいるか	B	4	HP
		平均	3.9	
		A平均	4.0	

1:課題
中項目3-2 学園本部が中心となり会計管理については概ね達成できているが本部任せになっていることもあり箇所でも担当者を含め共有する機会を増やしていく
2:今後の改善策
現在は月次決算の状況や監査対象となるものを本部とも共有。継続して共有しながら進めていく。
3:特記事項

10 社会貢献・地域貢献		カテゴリー	点数 4/3/2/1	エビデンス
中項目 1	社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行っているか)			
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	4	浦山学園InstagramUSP利用案内・施設管理表
2	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	A	4	職業体験講座リーフレット依頼状・契約書
中項目 2	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)			
1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A	4	ボランティア情報掲示板 Bit Handbook Bit活動賞 HP 地域連携学習ページ 社会貢献系学生サークル支援
2	目標・計画に基づく社会的活動(地域活動・地域貢献・ボランティア活動等)を実施しているか	C	4	令和7年度(2025年度)重点目標・活動計画書 実施報告メディア:Bit地域連携マガジン・HP
		平均	4.0	
		A平均	4.0	

1: 課題
すべての項目において4点での基準を満たしている
2: 今後の改善策
3: 特記事項

基礎資料 学生データ(5年分)

入学定員、入学者数、入学定員充足率、収容定員、在籍者数、収容定員充足率(R7.5.1 現在)

学科等の名称	事項	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
高度情報システム学科	入学定員	—	—	—	—	—
	入学者数	—	—	—	—	—
	入学定員充足率(%)	—	—	—	—	—
	収容定員	20	—	—	—	—
	在籍者数	4	—	—	—	—
	収容定員充足率(%)	20	—	—	—	—
情報システム学科	入学定員	30	40	40	40	40
	入学者数	67	98	64	49	55
	入学定員充足率(%)	223	245	160	122	138
	収容定員	60	70	80	80	80
	在籍者数	113	160	158	113	104
	収容定員充足率(%)	188	228	197	141	130
建築デザイン学科	入学定員	—	20	20	20	20
	入学者数	—	22	19	21	29
	入学定員充足率(%)	—	110	95	105	145
	収容定員	—	20	40	40	40
	在籍者数	—	22	41	40	50
	収容定員充足率(%)	—	110	102	100	125
先端技術研究科	入学定員	—	—	—	10	10
	入学者数	—	—	—	6	3
	入学定員充足率(%)	—	—	—	60	30
	収容定員	—	—	—	10	10
	在籍者数	—	—	—	6	3
	収容定員充足率(%)	—	—	—	60	30
建築士研究科	入学定員	—	—	—	10	10
	入学者数	—	—	—	2	0

	入学定員充足率(%)	-	-	-	20	-
	収容定員	-	-	-	10	10
	在籍者数	-	-	-	2	0
	収容定員充足率(%)	-	-	-	20	-
モバイルビジネス学科	入学定員	20	-	-	-	-
	入学者数	14	-	-	-	-
	入学定員充足率(%)	70	-	-	-	-
	収容定員	40	20	-	-	-
	在籍者数	21	13	-	-	-
	収容定員充足率(%)	53	65	-	-	-
歯科衛生士学科	入学定員	-	-	-	-	30
	入学者数	-	-	-	-	18
	入学定員充足率(%)	-	-	-	-	60
	収容定員	-	-	-	-	30
	在籍者数	-	-	-	-	18
	収容定員充足率(%)	-	-	-	-	60
Webクリエイター学科	入学定員	-	20	15	15	15
	入学者数	-	15	20	20	17
	入学定員充足率(%)	-	75	133	133	113
	収容定員	-	20	35	35	30
	在籍者数	-	16	36	36	36
	収容定員充足率(%)	-	80	103	103	120
ホテル・ブライダル学科	入学定員	20	20	15	15	15
	入学者数	8	13	10	7	9
	入学定員充足率(%)	40	65	67	46	60
	収容定員	60	50	35	35	30
	在籍者数	10	21	21	21	15
	収容定員充足率(%)	16	42	60	60	50

医療事務学科	入学定員	30	30	30	30	30
	入学者数	26	39	28	14	17
	入学定員充足率(%)	86	130	93	46	56
	収容定員	60	60	60	60	60
	在籍者数	66	65	68	40	31
	収容定員充足率(%)	110	108	113	66	52
診療情報管理士 研究科	入学定員	20	20	20	20	10
	入学者数	18	21	19	13	15
	入学定員充足率(%)	90	105	95	65	150
	収容定員	20	20	20	20	10
	在籍者数	18	21	19	13	15
	収容定員充足率(%)	90	105	95	65	150
情報ビジネス学科	入学定員			15	15	15
	入学者数			7	8	4
	入学定員充足率(%)			47	53	27
	収容定員			15	30	30
	在籍者数			7	15	11
	収容定員充足率(%)			47	50	37
公務員学科	入学定員	—	10	10	—	—
	入学者数	—	4	4	—	—
	入学定員充足率(%)	—	40	40	—	—
	収容定員	—	30	10	—	—
	在籍者数	—	4	4	—	—
	収容定員充足率(%)	—	40	40	—	—
国際ビジネス学科	入学定員	20	20	20	20	20
	入学者数	33	8	0	42	7
	入学定員充足率(%)	165	40	0	210	35
	収容定員	40	40	40	40	40
	在籍者数	50	39	8	42	49
	収容定員充足率(%)	125	98	20	105	123

日本語学科	入学定員	70	45	40	40	40
	入学者数	48	72	4	38	10
	入学定員充足率(%)	69	160	10	95	25
	収容定員	120	80	85	80	80
	在籍者数	52	77	77	42	76
	収容定員充足率(%)	43	96	91	52	95

② 卒業者数(人)(R8.3.1 時点)

区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
高度情報システム学科	4	—	—	—	—
情報システム学科	43	57	86	58	45
建築・デザイン学科	—	—	22	18	19
先端技術研究科	—	—	—	18	2
建築士研究科	—	—	—	2	—
幼児教育学科	—	—	—	—	—
モバイルビジネス学科	7	—	—	—	—
Webクリエイター学科	—	8	12	13	17
ホテル・ブライダル学科	1	8	11	9	6
医療事務学科	39	25	40	25	14
診療情報管理士研究科	18	21	18	13	15
情報ビジネス学科	—	—	—	7	7
公務員学科	—	3	4	—	—
国際ビジネス学科	17	31	8	—	41
日本語学科	24	6	73	7	66
計	153	159	274	157	232

③ 退学者数(人)(R8.3.1 時点)

区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度
高度情報システム学科	0	—	—	—	—
情報システム学科	9	7	7	4	3
建築・デザイン学科	—	1	0	1	3
先端技術研究科	—	—	—	1	1
建築士研究科	—	—	—	0	—
歯科衛生士学科	—	—	—	—	1
幼児教育学科	—	—	—	—	—
モバイルビジネス学科	0	2	—	—	—
Webクリエイター学科	—	3	5	3	3
デジタルメディア学科	—	—	—	—	—
インターネットビジネス学科	—	—	—	—	—
ホル・ブライダル学科	1	2	0	2	0
医療事務学科	1	0	2	1	1
診療情報管理士研究科	0	0	1	0	0
公務員学科	—	1	0	—	—
情報ビジネス学科	—	—	—	0	0
インターナショナルビジネス学科	1	0	0	0	0
日本語学科	1	1	0	0	0
計	13	17	15	12	12
退学率	3.2%	4.2%	3.4%	3.4%	2.9%

④ 休学者数(人)(R8.3.1 時点)

区分	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6年度	R7 年度
高度情報システム学科	0	—	—	—	—
情報システム学科	1	2	0	0	0
建築・デザイン学科	1	0	0	0	0
先端技術研究科	—	—	—	0	0
建築士研究科	—	—	—	0	—
歯科衛生士学科	—	—	—	—	0
幼児教育学科	—	—	—	—	—
モバイルビジネス学科	1	0	—	—	—
Webクリエイター学科	—	0	0	0	0
建築・デザイン学科	—	0	0	0	0
ホタル・ブライダル学科	0	0	0	1	0
医療事務学科	0	0	0	0	0
診療情報管理士研究科	0	0	0	0	0
情報ビジネス学科	—	—	0	0	0
公務員学科	—	0	—	—	—
インターナショナルビジネス学科	0	0	0	0	1
日本語学科	0	0	0	0	0
計	2	2	0	3	1
休学率	0.6%	0.5%	0%	0.3%	0.2%

⑤ 就職者数(人)(R8.3.1時点)

区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
高度情報システム学科	4	—	—	—	—
情報システム学科	36	51	72	50	40
建築・デザイン学科	—	—	20	18	19
先端技術研究科	—	—	0	4	1
建築士研究科	—	—	0	2	0
モバイルビジネス学科	6	8	—	—	—
Webクリエイター学科			12	13	17
幼児教育学科	—	—	—	—	—
デジタルメディア学科	—	—	—	—	—
インターネットビジネス学科	—	—	—	—	—
ホテル・ブライダル学科	5	8	11	9	6
医療事務学科	36	24	27	9	4
診療情報管理士研究科	17	21	17	13	15
情報ビジネス学科	—	—	—	7	7
公務員学科	—	2	3	—	—
国際ビジネス学科	15	29	8	—	40
日本語学科	21	6	2	1	1
希望者数	136	149	172	126	151
就職率	99.3%	100%	100%	100%	99.3%

※就職率＝就職内定者数/就職希望